

## R7研究主題

# 自律した学習者が育つ 授業デザイン

## I年次重点

子どもが問題解決に没頭する  
単元開発

## 研究の目的

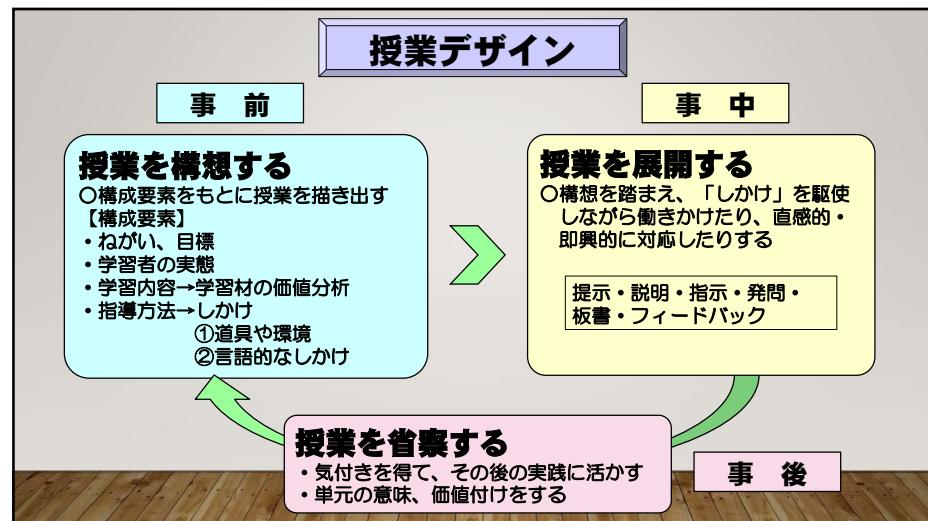
- ①各教科等における、**自律した学習者の具体的な姿**を見いだす。
- ②**自律した学習者の姿**が見られる「**授業デザイン**」の要点を明らかにする。

→仮説検証型ではなく、**仮説生成型**の研究

## **授業デザイン**

→鹿毛先生の著書を基にして本校として定義

- ・授業のすべての局面（授業の構想・展開・省察）に見いだされる。
  - ①**構想**→構成要素をもとに授業を描き出すこと
  - ②**展開**→構想を踏まえ、「しきけ」を駆使しながら働きかけたり、直感的・即興的に対応したりすること
  - ③**省察**→気付きを得て、その後の実践に活かすこと  
単元の意味、価値付けをすること



## 授業デザイン ①構想

- 学習者の実態
- 目標、ねがい
- 学習内容
- 指導方法



文章や説明によるまとめに  
気が向かない子でも、活動に  
没頭できるように…

## 授業デザイン ①構想

- 学習者の実態
  - 目標、ねがい
  - 学習内容→学習材の価値分析
  - 指導方法
- ①道具や環境としてのしきけ  
②言語的なしきけ

## 授業デザイン ①構想

- 指導方法

### ①道具や環境

登場人物になりきり行動して考える「演劇的手法」



### ②言語的なしきけ

単元名  
「そら組の友達と一緒に楽しもう」



## 授業デザイン ②展開

- ・しあわせを駆使しながら働きかけたり、直感的・即興的に対応したりすること

↓

**提示・説明・指示・発問・  
板書・フィードバック**



## 子どもの見取りの解像度を上げる取組

### 授業参観の視点の共有

子どもの姿の**事実**を、教師なりに**解釈**しながら見取る。

**【事実】** 「何をしたのか (do)」

「何を考えたのか (think)」



**【解釈】** 「どう感じたのか (feel)」  
「何をしたかったのか (want)」

見取った子どものその姿が現れた**要因**を考える。

**【要因】** 背景、性格、

授業デザイン (学習材、教師のしあわせなど)

## 授業デザイン ③省察

- ・気付きを得て、その後の実践に活かすこと

表情、発言、記述などから子どもの**内面**を解釈し、  
**手立てに反映**させる。

↓ (繰り返し) ↑

再度子どもを見取り、  
自分の**手立て**を評価し、次に生かす。

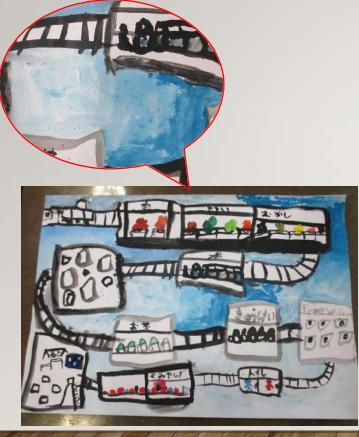
- ・単元の意味、価値付けをすること

## 授業者の見取りの記録 [R7オープン研]



主に黒色の絵の具で島の中を表現していた彼は、友達との会話をきっかけに他の色も使い始めたようだった。4つの丸が集まっているおかしについて尋ねると、それはグミらしく「だって一つずつ色が違うでしょ。」と得意げに答えた。自分の作品について語り出した彼には、自分の色使いへの自信がうかがえ、彼の中で物語が広がり始めたことを感じた。だからか、その後さらに使用する色の数が増えていった。

ピンク色：事実 黄緑色：解釈 水色：要因



その後、色の濃淡のグラデーションを実践する変容も見られたので、取り上げて価値付けたところ、最終的に豊かな色使いの表現につながった。

子どもの表現のよさや工夫している姿を見取って、積極的に価値付けることがその後の表現意欲につながるという学びを得た。

## 授業参観者の見取りの記録【R7オープン研】

児童がなかなか作業に入らずにいる姿が印象的だった。はじめは参観者に緊張しているために、筆が進まないのではないかと感じていたが、よく見ると、パレットの上の青色をじっと見つめ、絵の具を溶かす水の量を少しずつ調整し、色の濃淡を調整していることに気付いた。画用紙に色を塗る前には余った紙に何度も試し塗りをして、理想の青色に近づけようとしている様子だった。この児童は自らが考えた「自分だけの島」に愛着をもっており、こだわって表現しようとしている姿だと感じた。




机間指導で周ってきた茉子先生から「グラデーション使ってみたんだ。きれいだね。」言われると笑顔になった。自分なりの工夫を認めてもらったことが嬉しかったようだ。先生がいなくなると、また型紙を切り、今度はその紙に絵の具をにじませる技法を使って花火を表現しました。挑戦してみたグラデーションの表現技法を認められた安心感からか、さらに新しい表現技法に取り組み、作品をよりよくしようと考えたのだろうか。表現したい内容に合わせた技法が準備されていること。教師がそれを見取って価値付ける目をもっていることが重要だと感じた。

## 教材の理解、授業改善につなげる取組

### ワークショップの導入

学習者として提案授業の目玉となる活動を体験  
提案授業の背景の専門的な見地からの解説



- ・体験が見取りの解像度を上げる支えになる。
- ・授業者は、学習者の反応やフィードバックから、自身の構想の手応えを確かめられる。
- ・学習材の分析、子どもの姿の価値付けができる。

| 年次重点

# 子どもが問題解決に没頭する単元開発

- ①素材の価値を分析し、学習材として意味付けること。
  - ②しきけを構想すること。また、しきけを駆使して働きかけたり、直感的・即興的に対応したりすること。
  - ③開発した単元が子どもにとってどのような意味や価値があったかを省察すること。

| 年次重点

# 子どもが問題解決に没頭する単元開発

「？」や「！」が浮かび、  
「調べてみたい」「やってみたい」と  
意欲のスイッチがオンになった、心が動いている状態  
↓  
**意欲的に探究している姿**

# 問題解決への没頭

① 没頭する姿 ハナ没頭する姿

自分のもの(体験物)古きからの学びたつだけいく~~愛着~~もてて学ぶ姿。  
これまではいっくなうこと。  
国語を解説するための集中(図鑑)

② 外国語 志すからかのうごき...

なんとかしてほえこむから  
今までの喜び、使えるなぜかと絶倒してし  
正解不正確にのみいたそうこそ?  
意味はあるかもしれない。

③ 国工 表したいものへ合わせて表現技法  
えんぱい調整している。英語ももつて  
試す姿 くじけずに挑戦する。  
やり直してもやり直していく姿。包ももたない。

洗頭

植物・成  
友達のお

まだ100%満足はしていない、  
さらなる満足感(よりよい解決)を  
求めている状態  
「まだできるはず、よりよくしたい」

1. 想像  
2. 目標  
3. 自分見通し

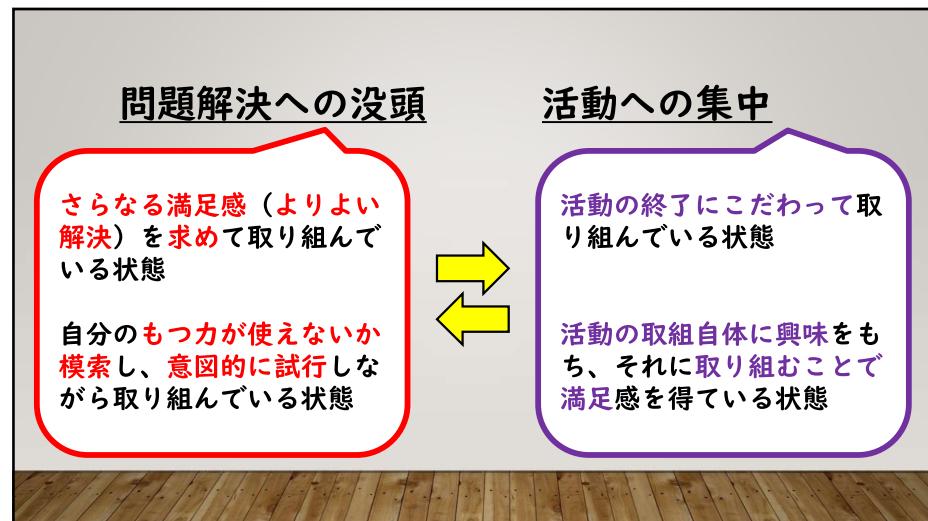
自分の中で満ちて出でる「他人へ」  
「高たされたにいからじまる」  
(内側リハーフト)  
「辛せ感」つむれども(自言)

満度は「自由」&「不自由」  
(教師の「内側リハーフト」  
「ほの英語」)

自分のもつ力が使えないか摸索している状態  
「なんとかして使えるものはないか」

意図的に試行している状態  
「これをすればどうなるかな」

## 活動への集中



## 仮説検証

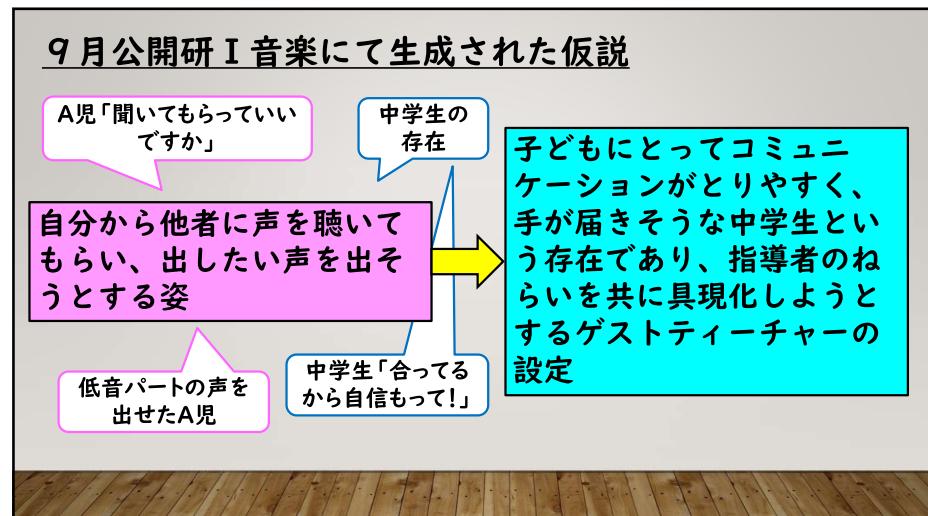
例：話合い活動や自分の考えを記述する言語活動を充実させることで、児童の表現力や論理的思考力が育成されるのではないか。

教師の手立て

## 仮説生成

・表現力や論理的思考力以外の力も高まっているはず。

・力の高まりは、話合い活動や自分の考えを記述する言語活動以外の要因も考えられるのではないか。



## 9月公開研Ⅰ 外国語にて生成された仮説

必死に答えようとする子どもたち

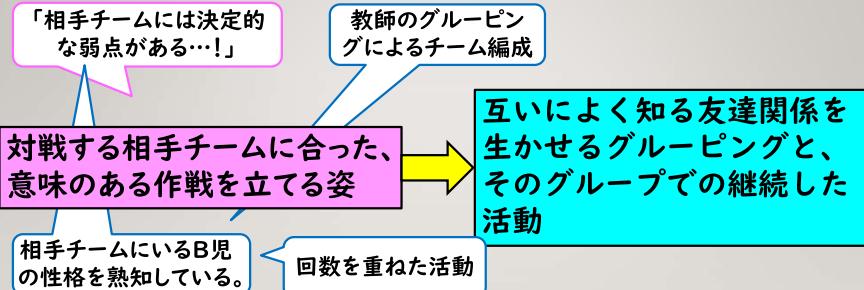
用意していなかった質問をその場で考えながら追加して質問する姿

留学生に質問されてうれしがる子どもたち

「友達になろう」「仲良くなりたい」という気持ち

うれしく思える双方向コミュニケーションが生まれるもととなる、「友達になる」「仲良くなりたい」という、子どもと共通の目的をもてるような動機付けを図った上で留学生の招待

## 9月公開研Ⅰ 体育にて生成された仮説



本日はご指導よろしくお願ひいたします

